

日本映画大学学生満足度調査結果【2024年度】

日本映画大学では、毎年3月に卒業する4年次生を対象に、4年間の学生生活を振り返った調査を実施しています。ここでは、過去3年度分の結果を掲載することで、経年での変化を確認することができるようにしています。

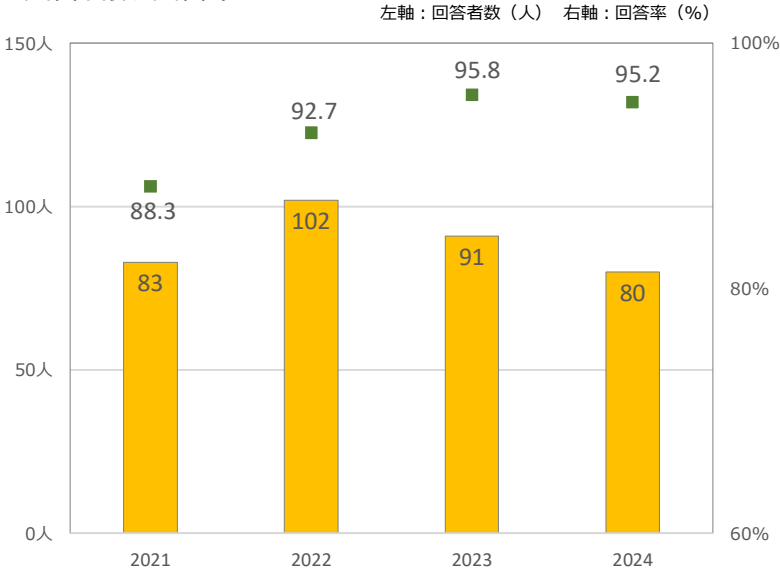
【調査概要】	調査実施日	2025年3月19日 (卒業式・学位記授与式当日)
	対象者	4年次卒業生
	対象者数	84名
	回答者数	80名(回答率95.2%)
	回答方法	調査票による回答

調査結果の概要

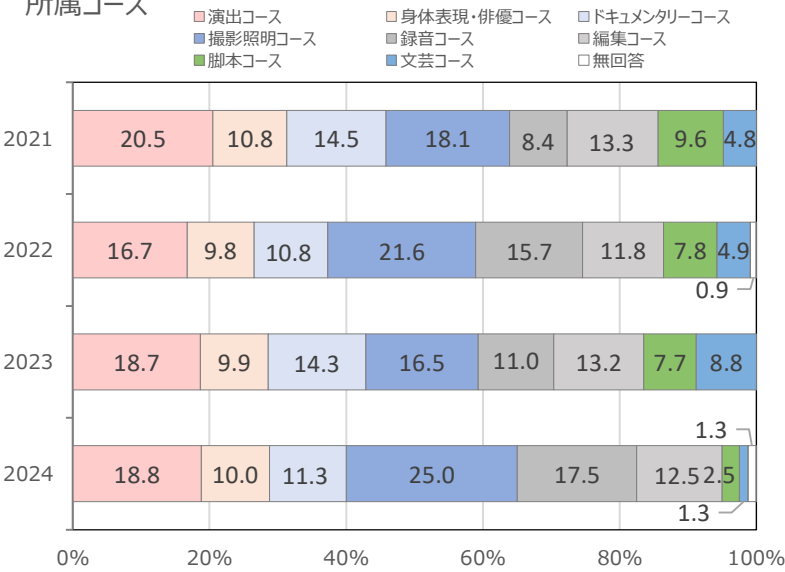
- 「本調査は、毎年卒業式当日に実施しています。出席者のほぼ全員が回答しているため、高い回答率となっています。」
- 「本学が第一志望だった」学生が6割、「入学時に将来の仕事についてのイメージ」が明確だった学生が半数近くにのぼることから、将来に対して明確なイメージを持って入学していた学生が多いようです。
- 「満足度」については、16項目で8割を超える人が「とても満足」「満足」と回答しています。なかでも「大学でやりたい勉強ができること」「授業を通して専門的な知識や技術が身につくこと」「大学生活を通して自分が成長できること」の満足度が年々高くなっていることから、大学での学びをとおした成長を実感していたことがうかがえます。「不満」「とても不満」と回答した人が1割を超えた項目はキャリア関連に多く見られますが、自分が思い描いていたような就職活動ができなかったことの表れといえそうです。
- 「重要度」については、「とても重要」「重要」と回答している学生の割合が年々減少しています。なかでも「教養が身につくこと」よりも、「専門的な知識や技術が身につくこと」「コースの内容が役に立つこと」の方が重要だと感じている学生の割合が高くなっています。例年、専門的な知識や技術の修得も重要だけど、やっぱり教養は必要だし重要だよね、と回答する学生の割合が高いのですが、今回はてっとり早く専門的な知識や技術を修得したいと考えているのか、そもそも教養は不要だったと思ったのか、「教養が身につくこと」の重要度は8割程度にとどまっています。
- 「悩み事の解決」については、カウンセラーに相談している人の割合が増えています。悩み事を誰かに相談している割合も例年より高くなっています。「大学生活で重要だったこと」（自由記述）にも友人の存在の重要さをあげている記述が多くみられますが、悩みを相談したり共有できる友人の存在は、大学生活を送るうえで大きな心の支えとなっていることがうかがえます。
- 「達成度」については、「将来のビジョンを明確にし、目標を立てる」「人生に役立つスキルを身につける」「将来に備えて準備する」ことが「かなりできた」と回答している割合が例年に比べて高くなっています。大学生活は楽しく、将来への準備はかなりできていて、大学生活での成長実感もかなり満足がいくものになっている、しかし自分が「将来、具体的に何をやりたいか」は見つけられていない。「総合満足度」は8割を超える学生が「たいへん満足」「満足」と回答していますが、どこか完全燃焼しきれていない、悔いの残っている感じがうかがえます。
- 本調査は、2021年度入学生がおもな対象者となります。この年度に入学した学生たちは、新型コロナウイルスの影響を最も受けた学年です。本学では対面での授業を継続してきましたが、次から次にやってくる感染拡大の波は、大学生活や学修環境にさまざまな制約をもたらしたばかりでなく、就職活動をはじめとするポストコロナ社会に否応なく適応しなければならなくなった学生たちにとって、大きな不安とストレスとなったことでしょう。そのようななかで8割を超える学生が「総合満足度」において「たいへん満足した」「満足した」と回答していることは、悩みを共有しあえるかけがえのない仲間とともに激動の4年間を過ごし切った学生たちの達成感・充実感が感じられます。「建学の精神」に掲げられた「曠野に向かう勇気ある若者たちの集まる場所」で出会った仲間たちとともに、ポストコロナ社会という「未踏の地に踏み込む勇気」を胸に、「建学の精神」を忘れず社会の一員として活躍することを心から願ってやみません。

基本情報

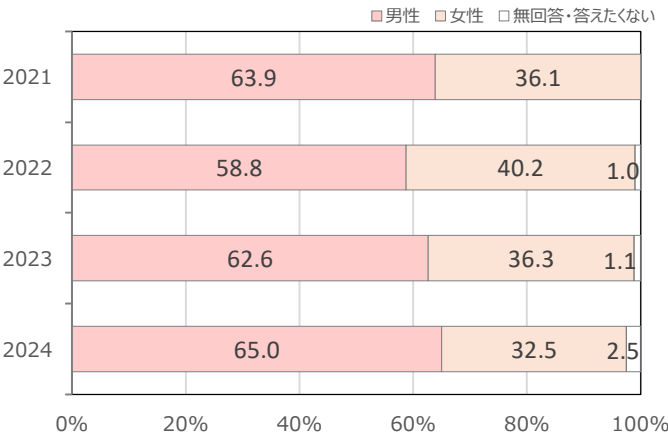
回答者数・回答率



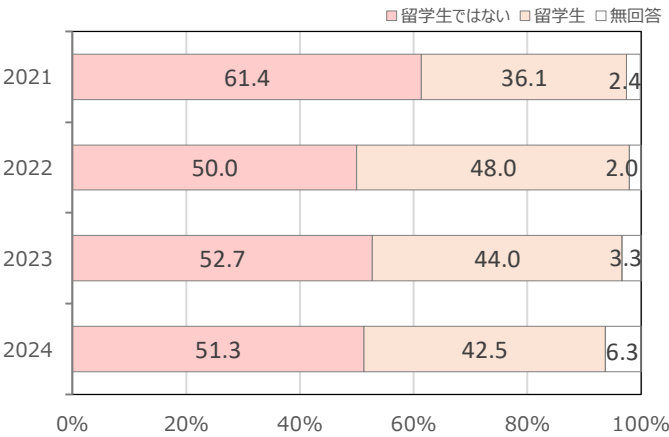
所属コース



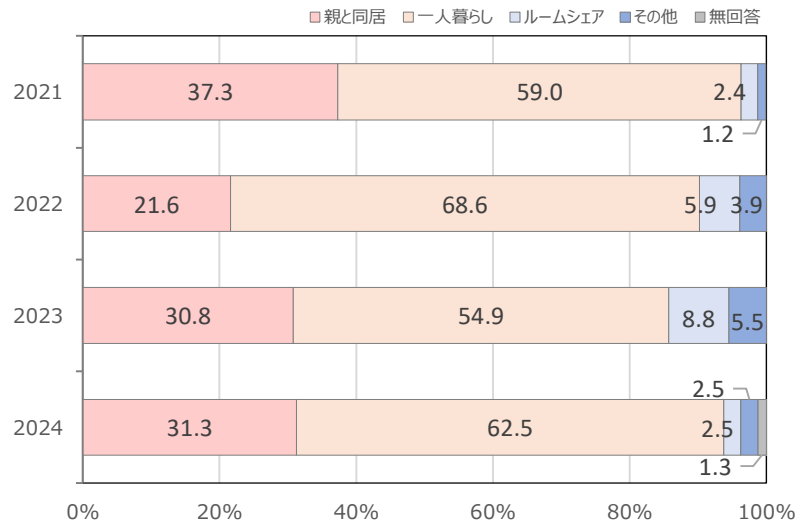
性別



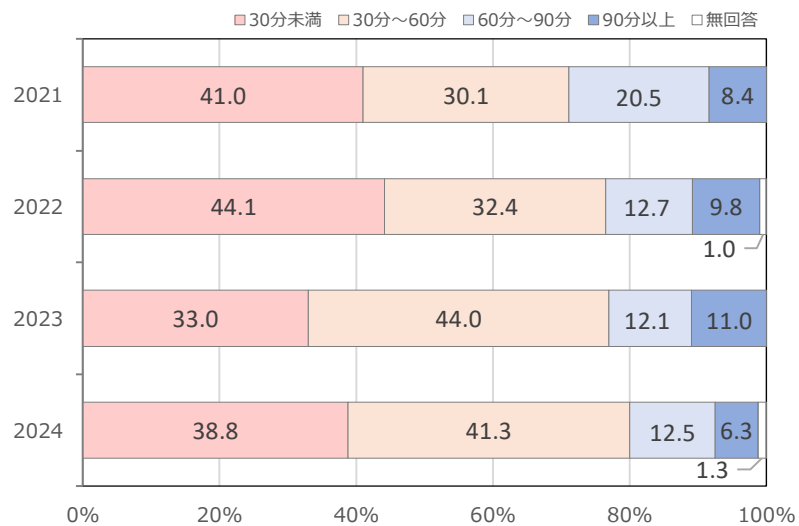
留学生ではない/留学生



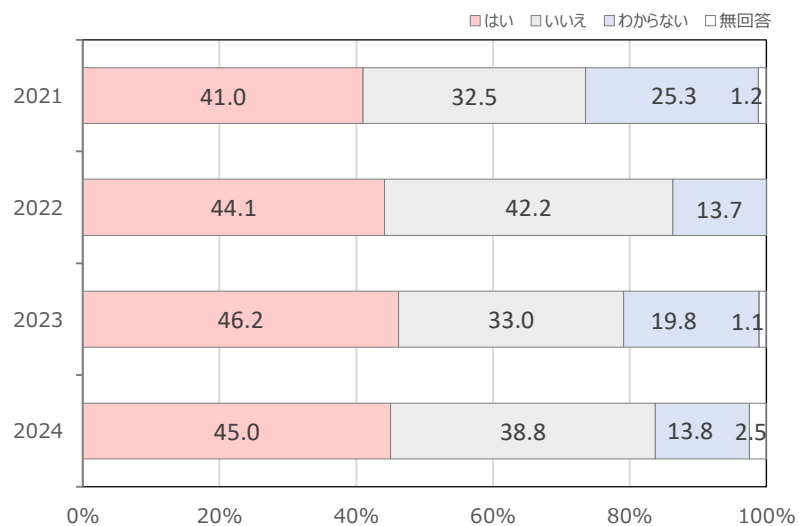
4年間の平均的な住居



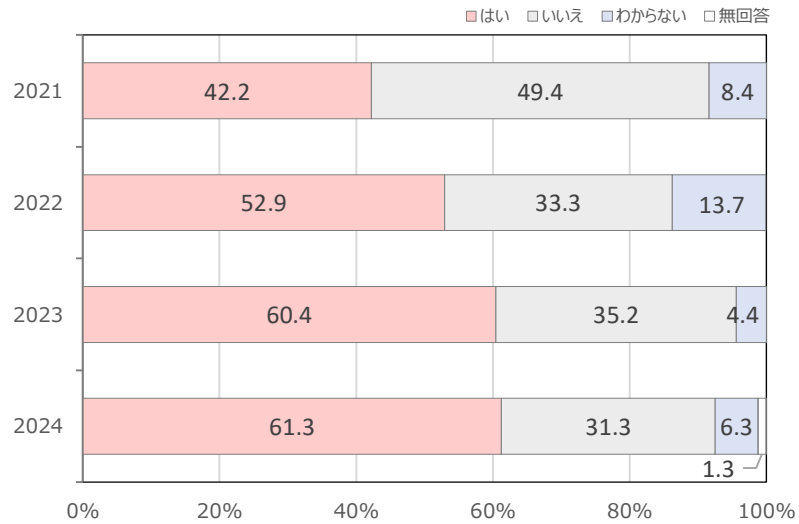
4年間の平均的な通学時間



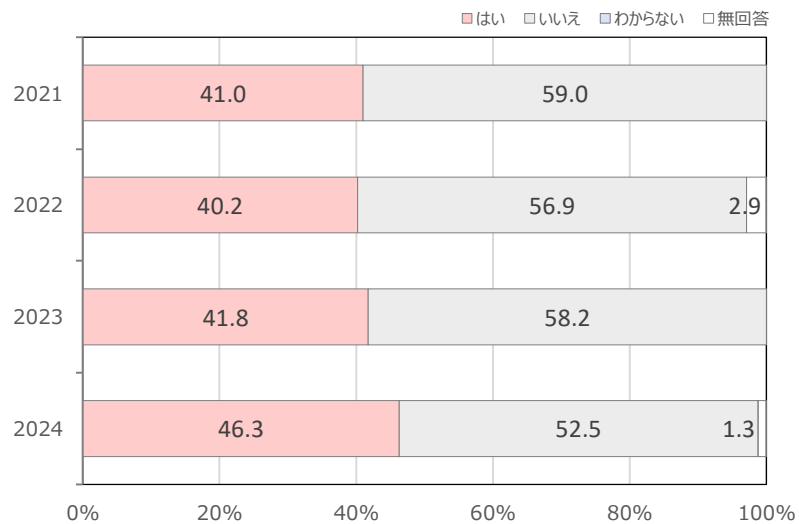
入学時に将来の仕事についてのイメージが明確だった



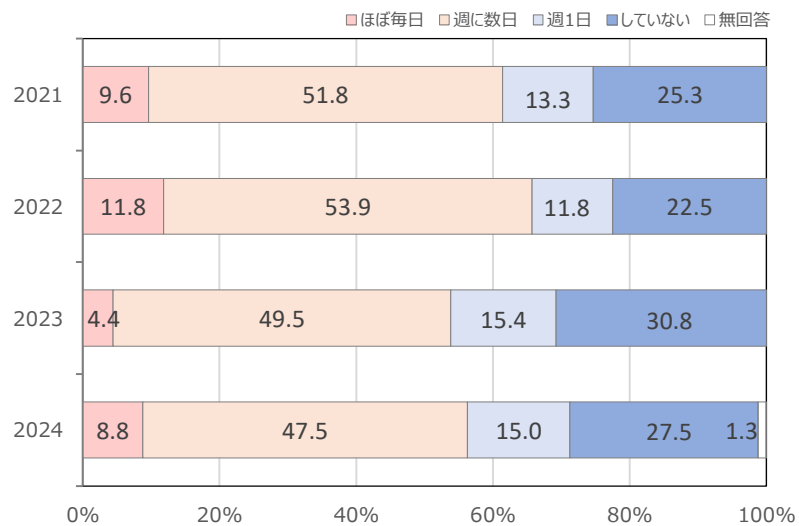
本学が第一志望だった



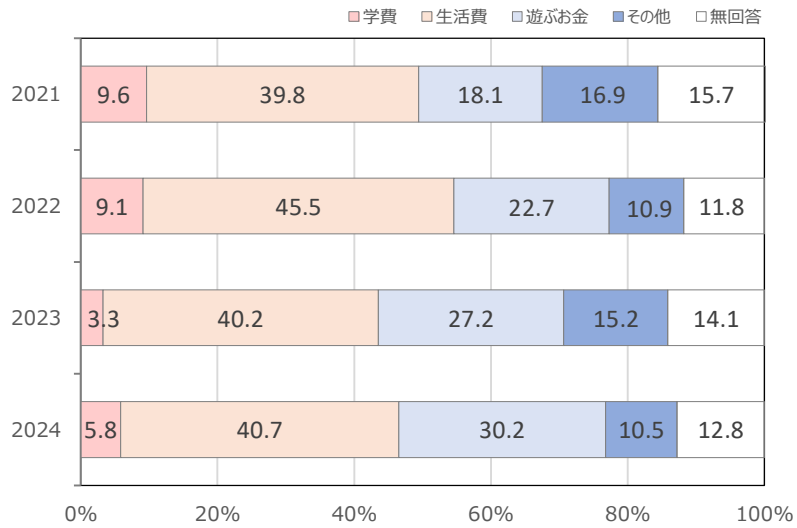
オープンキャンパスなどの行事に積極的に参加した



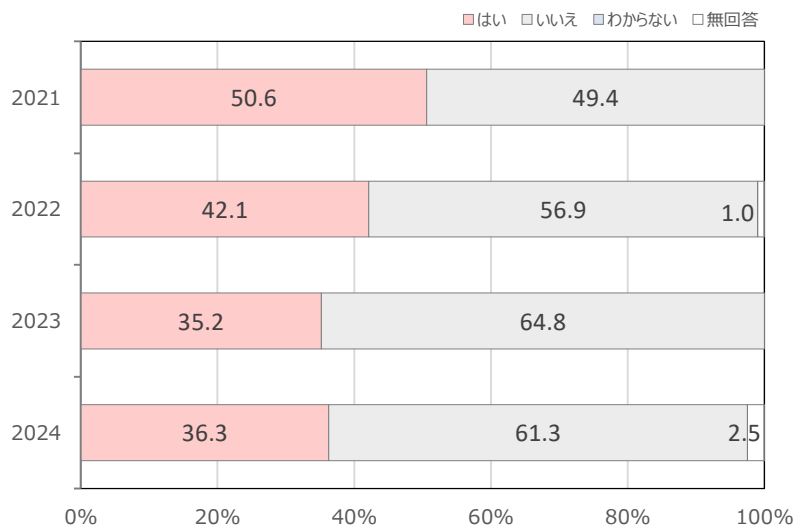
4年間の平均的なアルバイトの頻度



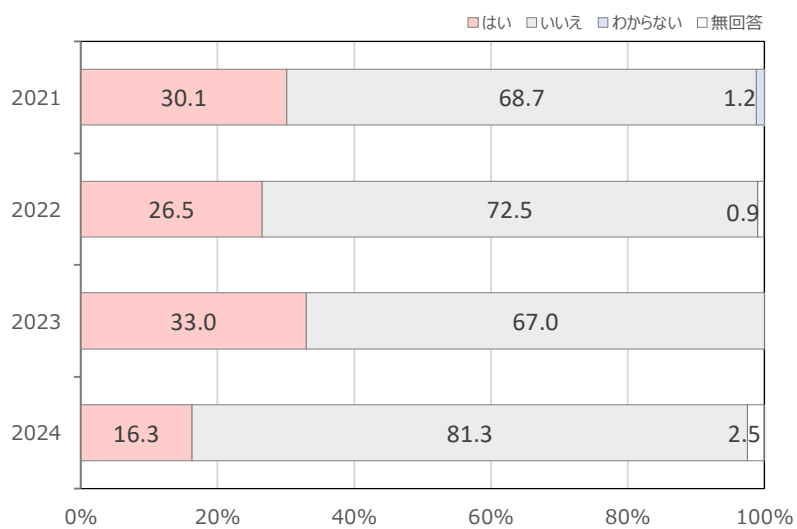
アルバイトの目的

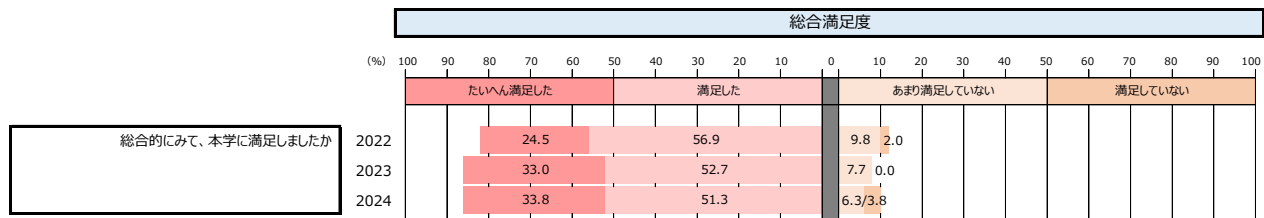
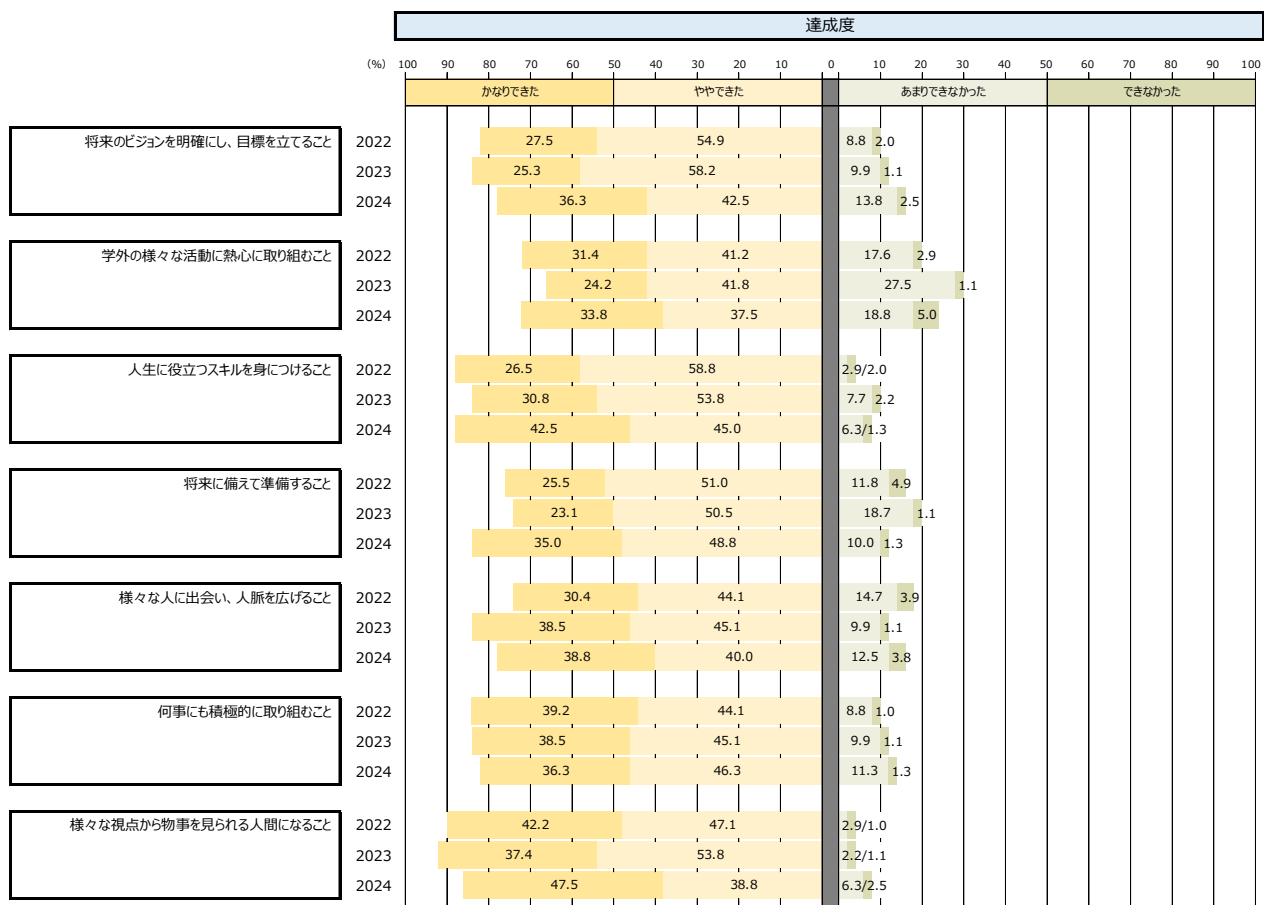
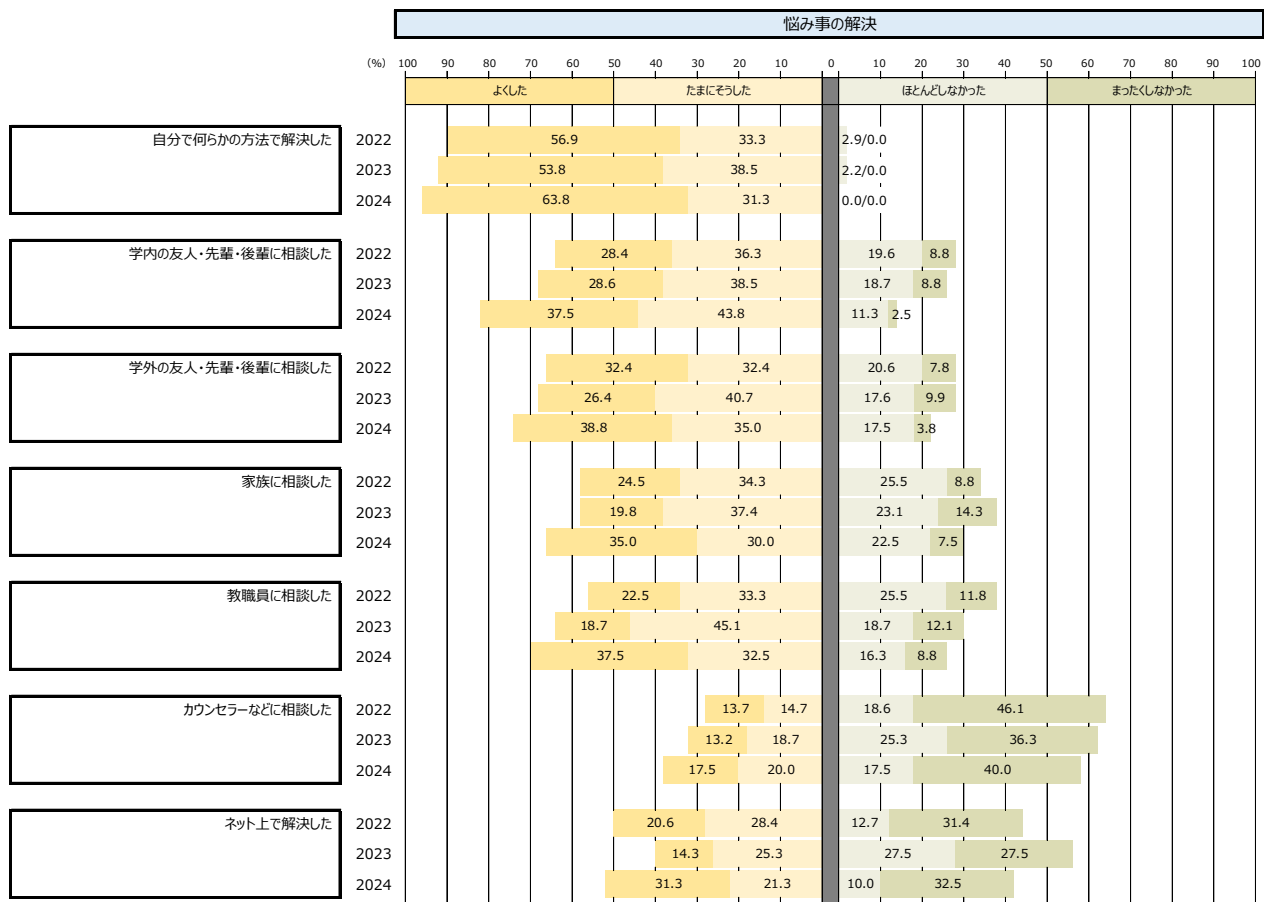


生活費や学費で経済的不安がありましたか

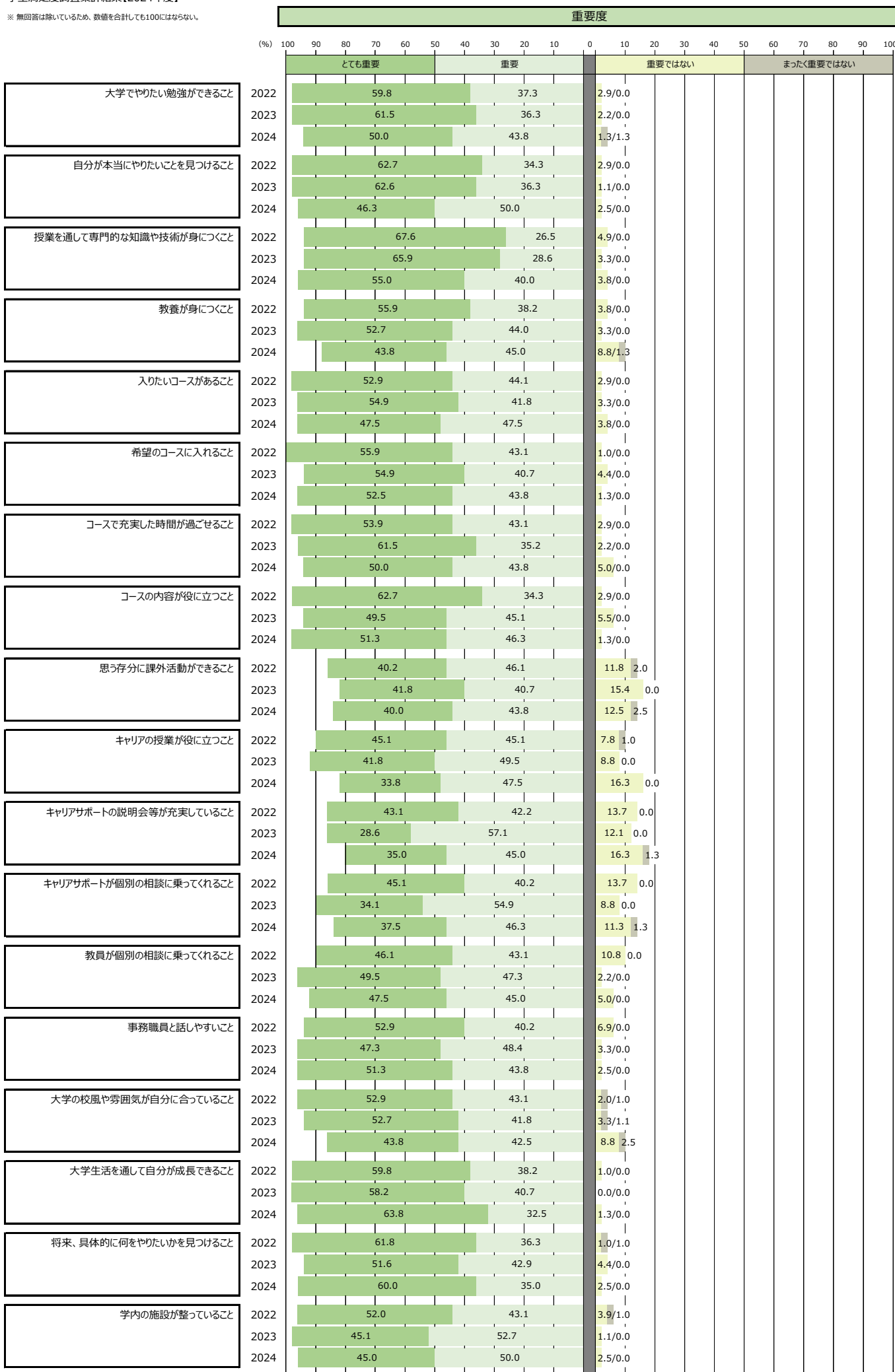


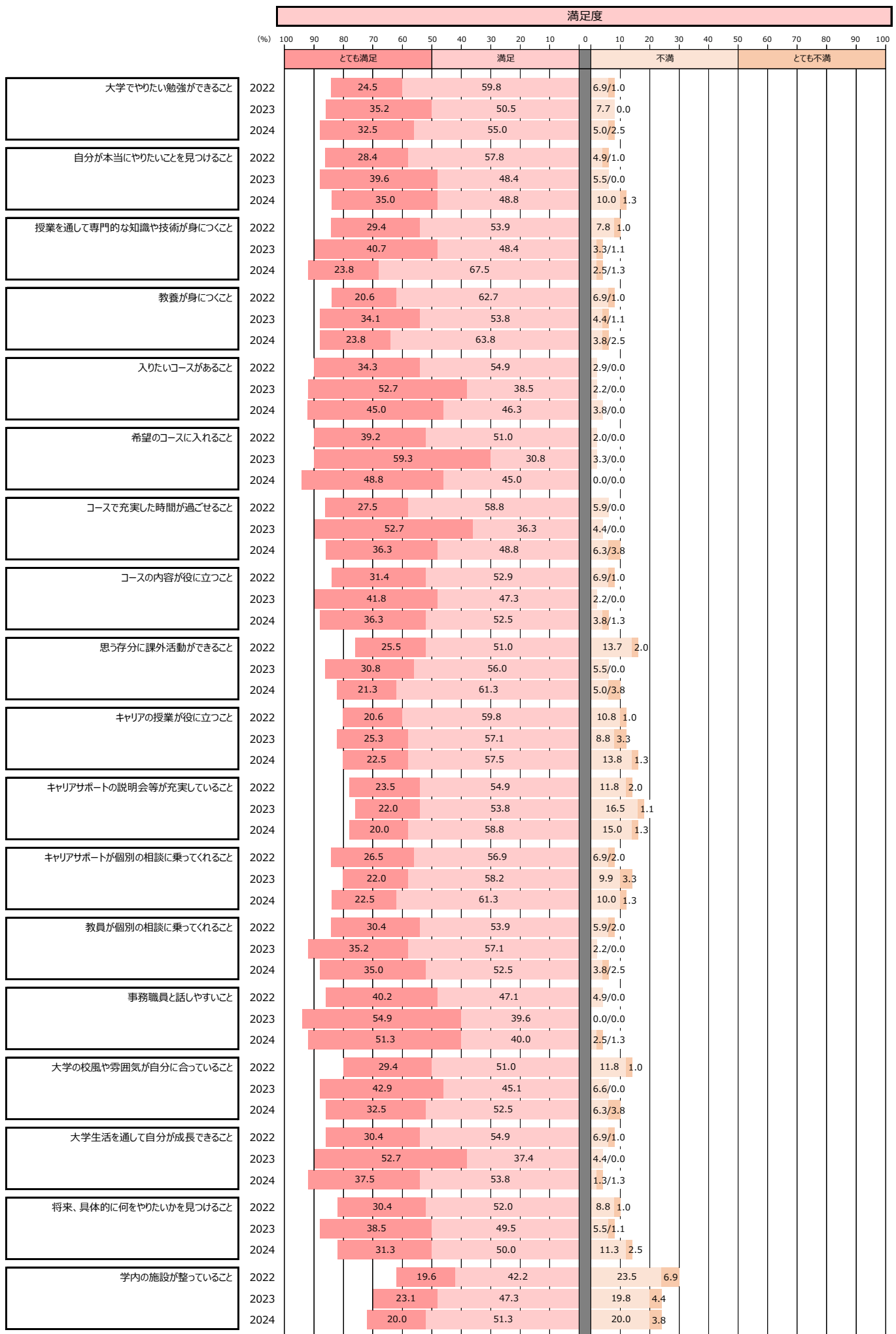
奨学金は受給していましたか





※ 無回答は除いているため、数値を合計しても100にはならない。





実現・満足できたこと、できなかったこと（自由記述）

- 楽しく学生生活を送ることができた（演出）
- 何かしら大学に良い変化をもたらすこと→まあまあできたと思う。あとはこれから引き継がれていくかどうか（演出）
- 先生からも同級生からも、違う考え方と同じ物事に対する違う見え方を持つようになりました。困難を自力で打開できるような力をまだ身につけることができていない（演出）
- 助監督として演出部として成長できました。監督としての要素は自分の中でいまだにつかめてないのが、できなかったことの1つ（演出）
- 同じ目的を持った仲間たちと出会えたことがなよりの財産だなと思います。ご縁を大切に今後も頑張っていきます！！（演出）
- 確かな実力を身につけられなかった。満足のゆく作品を作り上げられず、また技術や知識などの明確なノウハウを学ぶことができなかった（演出）
- 映画が自分の手からつくられた感覚。卒業制作で監督になれなかったこと（演出）
- 監督としてどのように映画を制作していくべきなのかを色々学ぶことができ、それが満足できた。またそれらをシナリオに反映することができ、学ぶことができてよかった（演出）
- 映画人になることができなかった（演出）
- 欠点を改善しきれなかったこと。少しは自分で考えることができるようになった（身体表現・俳優）
- 自分の演技に最後まで満足いかなかった（身体表現・俳優）
- やりたいことはすべて実現できた（身体表現・俳優）
- 天願さんの下で芝居について学べて沢山の練習や舞台、映像で演技ができて満足でした（身体表現・俳優）
- 色々なコースの友人ができたこと。もっとたくさん自主制作をとりたかった（身体表現・俳優）
- 人とはぶつかり合いまくって、人間として未熟なところを多く感じたため、やはり人間関係は悩むことが多かった（身体表現・俳優）
- 支援部の先生がいろいろ助けられました（ドキュメンタリー）
- いろいろ勉強しました（ドキュメンタリー）
- 映画制作ができたこと（ドキュメンタリー）
- 自分の意見を持つということ。しかしそれを表に出せなかった（撮影照明）
- やりたい技術を身につけ、いい友達をつくった（撮影照明）
- 友達を作った（撮影照明）
- 自主制作への関心がなかった。大学の制度等において（撮影照明）
- 仕事できました（撮影照明）
- 人間関係ができなかった。映画に関するものは勉強になった（撮影照明）
- 順調に卒業した（撮影照明）
- カメラマンを1回やって楽しかった。撮りたい作品は最後まで撮れてない。生かしたかった（撮影照明）
- 撮影部以外の部が自主制作で経験できたこと。大学からの紹介でプロの現場も経験できたこと（撮影照明）
- できたこと：専門的な技術を身につけること、多くの映画を観ること。できなかったこと：課外活動などに積極的に参加すること（撮影照明）
- 自分は大学に入るまで”がんばる”ということ自体ができなかったが、がんばれるようになったし、何より実用的で責任感がついた。やりたかったことは全部できた（撮影照明）
- 夢を見つけたこと（撮影照明）
- 映画制作の基礎を学べた。自分の映像作品を作ることができなかった（撮影照明）
- 酒に強くなった。好きな人のことを守れなかった（撮影照明）
- これまでできなかったこと、普通の大学にいたらできなかったことが経験できたことに満足している（録音）
- 生きてたこと。就職できなかったこと（録音）
- 最後まで諦めず就活をやりつづけて、内定をもらったこと（録音）
- 満足だらけ（録音）
- すべて（録音）
- 映像業界は厳しかった。できれば就職したかった.....！（録音）
- 学内の出会いを通して学外の繋がりがたくさんできて、幸せな学生生活になった（録音）
- 素敵な同期に出会えたこと（録音）
- 満足できたこと：たくさんの技術が学べたこと。できなかったこと：もっと技術的なことを学ぶこと（録音）

- 全部満足だった〔編集〕
- 支えてくれた家族に、胸を張って伝えられる仕事を見つけれなかったこと。それでも自分という存在を見つけ出してやりたいことを考えられる脳になれたこと。映画からはもちろん、様々なエスニシティの人と関わってそんな考え方ができるようになったこと〔編集〕
- 卒制でやりたいことができたが満足にはできなかった。しかし楽しくて、学びのある4年だった〔編集〕
- 分かってはいたけれど、あまり休みがなくて自分の時間がとりにくかったこと。1年で仲が良かった子と実習ができなかった〔編集〕
- 自分で創作した作品が作りたくてこの大学に入ったことを考えると達成できた。けれどももっと自主制作や脚本を書きたかった思いがある。それから、今後も続けていきたいと思っている〔編集〕
- 実現できたとは思えませんが、自分の至らなさは痛感しました〔脚本〕
- 満足できた〔脚本〕
- 日本でたくさんの友達ができたということです。リアルな関係ができたことは何よりも重要なことです〔文芸〕
- 人間らしいこと〔無回答〕

大学生活で重要だったこと（自由記述）

- 楽しく学生生活を送ること〔演出〕
- 特に縦の繋がり（学内）を作りたかった〔演出〕
- 自分の成長と社会で仕事していく時のコミュ力と常識。ややできました〔演出〕
- コミュニケーション能力が重要。人と人との関わり、つながりがとても大切でした。映像制作は一人ではできないという誰もが言えれば分かるようなことが、意外とこの大学の学生は内気で、そういう部分がなかったと感じました。そこが一番重要です〔演出〕
- 映画づくりを通して自分自身を見つめ直すこと、仲間たちとのコミュニケーションに励むこと、映画づくりに関わらず、人間として必要なスキルを手に入れることができた気がします〔演出〕
- 面白い映画を作れるだけの感性や知識、実力を身につけること。また共に同じ道を生涯にわたって歩んでゆく仲間を作ること〔演出〕
- コロナでも実習を続けること、学費と時間を無駄にできなかった。映画づくりの流れを先生から教えられたこと〔演出〕
- 映画を学ぶ大学として、監督としてどのように映画を制作していくべきなのかを学びたかった〔演出〕
- 映画作成〔演出〕
- 友人の存在と自分の思考をしっかりとめること〔身体表現・俳優〕
- 友達がいること〔身体表現・俳優〕
- 映画について相対的に学ぶこと〔身体表現・俳優〕
- 自分のやりたいことができるかどうか。役者志望で入学して現コースに入ったので、舞台や映像作品で演技ができてたくさん学ぶことができ満足でした〔身体表現・俳優〕
- 演技をする場がしっかりあり、楽しく、演技を学べた〔身体表現・俳優〕
- 今までの学校生活であまり仲の良い人とか話がある人とかができず人間関係で悩むことが多かったので、この大学で同じ世界を目指している人と出会えたのがすごくよかった〔身体表現・俳優〕
- 日本の生活になれること〔ドキュメンタリー〕
- 真面目が一番重要だと思います〔ドキュメンタリー〕
- いろいろな実習の中で技術を学ぶこと〔ドキュメンタリー〕
- 人とのつながり〔ドキュメンタリー〕
- 就職できるスキルを身につけること〔ドキュメンタリー〕
- 出会い〔ドキュメンタリー〕
- 成長したこと〔撮影照明〕
- 人と触れ合い、思いや考えを共有すること〔撮影照明〕
- 自分は欲しいものをわかって、目標へ進むこと〔撮影照明〕
- 友達を作る〔撮影照明〕
- 将来についての意味のある4年間にすること。趣味は見つけれられたのでよかった〔撮影照明〕
- 時間管理と人間関係〔撮影照明〕
- 自己成長、免許、英語、撮影、編集〔撮影照明〕
- 撮影（映画）の知識を学び、日本人とのコミュニケーション、協力を学んだ〔撮影照明〕
- 友達ができたこと、自分を信じること〔撮影照明〕

- 自分の手で映画を作る体験ができたこと〔撮影照明〕
- 専門的な技術を身につけること。多くの映画を観ること〔撮影照明〕
- 自分のやりたいことをやりたいようにやるために、責任をもって最後までやりとげることをやりとげるということ〔撮影照明〕
- 人間関係〔撮影照明〕
- 色んな人達の考え方や人柄に触れることで、自分の視野を広げることができた〔撮影照明〕
- 学校でいろいろな知識をもらった。友達と楽しい時間を過ごした〔撮影照明〕
- 映画関連の勉強をすることが入学時は一番重要に感じていたが、4年間を振り返ってみると、色々な人と長時間一緒に同じものを作ろうとした経験が一番大切なものになったと感じる〔録音〕
- 推し活満喫できたこと。録音の技術を身につけたこと〔録音〕
- 目標を明確にすること〔録音〕
- 入学当初は不安なことだらけだったが、作品と一緒に作るというよりコミュニケーションを取らざるえないことだらけで、助け合って不安なことを考える暇はなくなった！〔録音〕
- よく関わる仲間たちと信頼関係を保つこと〔録音〕
- コミュニケーションを積極的にとること。多くの人と関わること〔録音〕
- 友人、知見を広げること〔録音〕
- 自分という人間が社会に出るように準備し、教養や対人スキルなどをすること。これから待っている、週5で働くために存分に遊んで失敗して成長すること〔録音〕
- 仲間を作ること。この先ずっと心の支えになると思う〔録音〕
- 手に職をつけられる技術が重要だった。できた〔録音〕
- この4年間、専門知識を学ぶことは重要だった〔編集〕
- 人と生きていく中で1人になってしまうとき、1人で考えるのか、人と考えるのか、どのように考えるのか、4年間の時間を使ってたくさん考えた。それをどのように伝えるのか、演出という見方で考えるクセがついたことはとても大事な4年間だったと思う。見方、伝え方がとても重要だったと思う〔編集〕
- 当たり前の事ではあるが、集団行動の大切さ大変さを、成人してからの学校で、中高よりも難しい気持ちになる場面が多かった〔編集〕
- 積極的に物事に取り組む。内気、非積極的だと100%学んだことを吸収して発揮できない〔編集〕
- 自分が楽しめるかどうか〔編集〕
- 映画製作の裏側を知ること、さらにさらに創作を仕事にするという難しさと社会的に一般的な感覚ではいられないということ、学生のうちにどうこうできる世界ではないこと、様々なことを人生経験を経て形にしていこうと、面白いと思ってもらえることを学んだ。これからあきらめず、目指していく。くさらない〔編集〕
- 自分が本当にやりたいことを見つけること〔脚本〕
- 専門スキルを身につける〔脚本〕
- 重要だったのは、やはり常に名人は違う考え方を持っていると意識しないといけないのだ。私にとって何か必要なものは、必ず他人にとって必要なものではないと悟りました〔文芸〕
- 人間味〔無回答〕